

## 元気スタイル1 「こども輝くまち」を創る

これまでの子育て支援に加え、「子育て」を力強く応援し、未来を担う子ども達が夢や希望を持ちながら、充実した教育環境のもとで目を輝かせて学び、心豊かにそしてたくましく成長できるまちを創ります。

### 1 暮らしと学びの応援創り

#### 1 子ども未来応援施策の推進



##### 【概要】

子どもの権利を尊重し、全ての子どもが未来に向けて夢や希望の実現に挑戦できる「こども輝くまち」を目指し制定した「甲府市子ども未来応援条例」の普及・啓発を図るとともに、条例に規定する3つの柱からなる「子ども未来応援施策」を展開していきます。（また、「子育て」の両輪である「子育て」支援のさらなる充実に取り組みます。）

##### 【令和3年度実績】

- ・子ども未来応援施策の実施に向け、学習支援や子ども食堂等の活動を行う方々と意見交換を行った。
- ・青少年相談室に寄せられた相談の内、18歳未満の子どもに関する相談15件について、子どもの権利擁護委員に情報共有し、助言を貰うとともに、権利擁護委員会を2回開催し、青少年相談室や他課との連携を図った。
- ・「担い手登録制度」と「子ども応援会議」を軸とした「甲府市子ども応援プラットフォーム」を令和3年10月に構築し、13件（個人1名・団体12組）の登録決定を行い、2回の子ども応援会議を実施した。令和4年2月19日に「子ども未来フォーラム」を開催した。
- ・子ども未来応援条例に基づく子どもの権利擁護委員について記載した携帯カードを作成し、市内中学校及び高校に在学する生徒に配布した。

#### 2 子ども応援センターを核としたネットワークの構築



##### 【概要】

地域における子育て支援の担い手の育成や、学習支援等を含む子どもの交流・相談の場づくり等の活動を支援するネットワークの整備、市内小中学校を対象とした学用品等を中心にリユース事業の実施など、子どもが健やかに成長できる仕組みづくりを推進します。

##### 【令和3年度実績】

- 子どもの交流・相談の場作りへの支援
- ・学習支援を兼ねた子どもの居場所づくり事業を128回開催し、156名の生徒と265名のボランティア合計421名の利用があった。
- 学用品等リユース事業
- ・中学校5校、小学校2校の7校の協力のもと、回収及び提供を実施した。（中学校5校（南・北西・城南・東・西） 小学校2校（伊勢・相生））
- ・次年度より新たにリユース品の提供を行う北東中学校と富竹中学校の2校を加えた小学校2校、中学校9校に協力の依頼を行った。
- 空き家の活用
- ・補助制度の利用促進のために啓発小冊子を作成し、空家所有者に送付した。
- ・子育て支援施設として利活用可能な空き家の調査を実施するとともに、子育て関係団体等との協議を行った。
- ・子育て関係団体等への空き家のマッチングのため、空き家所有者との調整等を行った。
- ・子育て支援施設等への空き家改修に伴う地域活性化施設整備費補助金の交付を行った。

3 時代に即した学習の支援



【概要】

国際化・情報化（情報技術）などが進む中、世界で活躍できる人材や情報技術の知識・技能を習得した人材などを育成するため、高速大容量の通信ネットワークを整備するとともに、児童・生徒 1 人 1 台端末を整備するなど教育のICT化を進め、学習意欲の向上と、「主体的・対話的で深い学び」を推進します。

【令和3年度実績】

- ・Google for Education パートナー自治体に参画した。
- ・1人1台端末の整備を完了し、授業での本格的な運用を開始した。
- ・1人1台端末を活用したマイナンバーカードの活用に関する講座を実施した。

4 学校環境の向上



【概要】

学校施設長寿命化計画を策定し、老朽化が進む小中学校のトイレを衛生的で機能的なトイレ環境へと年次的に整備するとともに、通学路・避難路に面するブロック塀等の所有者に対して、ブロック塀等の撤去・改修工事費の一部を助成するなど、子どもたちの学習及び生活の場である学校施設等の環境改善を進めます。

【令和3年度実績】

- ①【小中学校 学校施設長寿命化計画】
  - ・小学校1校、中学校1校のトイレリニューアル工事を完了した。
- ②【私有ブロック塀等の撤去・改修費助成事業】
  - ・市ホームページや広報に掲載を行うとともに、庁舎や公民館に掲示を行い啓発を図ったほか、戸別訪問による周知を行った。
  - ・ブロック塀等に関する電話や窓口などの相談に対応し、補助申請を受け付けた。
- ③④【学習指導員の配置、スクール・サポート・スタッフの配置】
  - ・学校訪問及び面談を行ったほか、新規任用者の面接等を行った。
- ⑤【学校給食費徴収に係る公会計化】
  - ・学校給食費徴収規則を制定し、給食費及び学校徴収金の取扱い等について保護者へ通知した。
- ⑥【スポットクーラーの整備】
  - 電源改修工事を完了し、熱中症対策として有効に活用した。

## 2 たくましさ創り

### 5 子ども運動遊びを推進するプレイラーダーの養成



#### 【概要】

子どもの運動能力の更なる向上に向けた人づくりとして運動遊びを効果的に実践できるプレイラーダーや指導者の育成を図るとともに、プレイラーダーを介して保護者と子どもが運動遊びを体験できるイベントを開催し、子どもの健全な心身の成長を応援します。

#### 【令和3年度実績】

・新型コロナウイルス感染症に配慮する中で、プレイラーダー研修会を実施した。

### 6 子ども運動遊び場の提供



#### 【概要】

幼児教育センターなど既存施設を活用し、子どもの健全な心身の成長に必要な幼児期における「遊び」を中心とした身体活動をいつでも楽しめるよう「運動遊び場」を提供します。

#### 【令和3年度実績】

・甲府市子ども屋内運動遊び場を開設した。  
 ・臨時休館期間を利用する中、スタッフ研修を実施し、スタッフであるプレイラーダーのスキルアップを図った。  
 ・甲府市子ども屋内運動遊び場を市ホームページをはじめ、Instagram、リーフレット配付、ポスター配付、ラジオ、テレビ放送、フリーペーパー「Linkids」や「ちびっこぶれす」への掲載といった様々な媒体で情報発信した。

### 7 遊亀公園及び附属動物園の整備



#### 【概要】

子どもがいきいきと元気に遊べる場として、また、子どもからシニアまで多くの市民が集い憩える場として、遊亀公園及び附属動物園を一体的に整備し、賑わいと交流を創出するとともに、より一層親しまれ誇れる動物園を目指します。

#### 【令和3年度実績】

・公園工事においては、令和4年4月28日の供用開始を決定し、予定通り整備を進めた。  
 ・動物園整備においては、公募型プロポーザルを実施し、業者を選定し、12月から実施設計の業務に着手した。

### 8 子ども・若者の意見表明の場創出



#### 【概要】

次代を担う若者が「甲府」について主体的に考え、夢や想いを伝える機会を創出することにより、市政への興味・関心を高め、将来的なまちづくりの担い手の育成へとつなげるとともに、地域ぐるみで子育てを応援する機運の醸成や、子育てに関する取組のPRを図るため、子ども未来フォーラムを開催します。

#### 【令和3年度実績】

・感染対策を講じる中、高校生ボランティア団体との意見交換を行った。  
 ・令和4年2月19日、子ども未来フォーラムを開催した。  
 ・「甲府市子どもの権利擁護委員」の代表による講演会と中学生4名を交えた座談会で構成する「子どもの権利セミナー」を実施し、中学生の意見を聞く場を設けた。

# 元気スタイル2 「健康といきがいのまち」を創る

市民一人ひとりが、住み慣れた地域で「いきがい」や「きずな」を大切にしながら、いつまでも健やかで活躍できる「元気 City こうふ」を創ります。

## 1 健康の好循環創り

### 9 健康支援センターの拠点機能の発揮



#### 【概要】

市民の生涯を通じた総合的な健康づくりを進める「健康支援センター」が、その拠点機能を発揮し、健康づくりに関する教室を開催するなど、身近な地域で様々な保健事業や子育て支援事業を展開することにより、「ひと」、「地域」、「まち」の健康づくりを推進します。

#### 【令和3年度実績】

- ・地域ごとの健康課題を抽出し、「あなたの地区の出張保健室」に向けた年間計画（31地区）を策定した。
- ・「あなたの地区の出張保健室」での健康教室を開催した。
- ・「おいし食・楽しく・元気塾」を実施した。
- ・「歯つらつ歯っぴーキャラバン」を開催した。
- ・個別患者支援計画に基づき、訪問または電話連絡等によるDOTS支援を実施した。
- ・「いきいき教室」を開催した。

### 10 健康都市こうふの推進



#### 【概要】

「健康都市宣言」の市民一人ひとりが自分自身の健康意識を高め、自ら健康づくりに取り組むことができるよう、地域でのつながりや支え合いをより一層深めるとともに市民の心と身体の健康を支えていくという考えのもと、市民・地域・行政が一体となった健康づくりを推進します。

#### 【令和3年度実績】

- 健康政策推進事業
  - ・健康ポイント事業を開始した。
  - ・健康リーダー養成事業を実施し、全5回終了後に修了式を実施した。
  - ・健康チャレンジ表彰事業を実施し、表彰式を実施した。
- ひと・地域・まちの元気アップ促進事業
  - ・ヘルスチェック（測定会）を11月に試行し、その後、12月に1回、2月に2回、3月に2回実施した。
- 心の健康づくり対策
  - ・市職員、各種団体、市民それぞれに向けて、ゲートキーパー養成研修を開催した。
  - ・甲府市ひきこもり支援庁内検討会議を開催した。

11

**緑が丘スポーツ公園の再整備****【概要】**

市民の健康増進・体力づくりに寄与し、生涯スポーツ活動の拠点となるよう、緑が丘スポーツ公園の再整備を計画的に行います。先行して、県が施工する緑が丘アクセス道路整備の影響を受けるテニスコート〔Aコート〕や、野球場と船出広場のそれぞれ一部を整備し、その他施設の更新を検討します。

**【令和3年度実績】**

- ・地元関係者及び競技関係団体等との協議を進める中で実施設計を作成した。
- ・野球場、テニスコートAの解体工事に着手し、テニスコートAについては工事を完了した。

12

**地域・職域連携の推進****【概要】**

市内における小規模事業所（従業員50人未満）の従業員等を対象とした「生活習慣病等予防講習会」を実施するなど地域保健と職域保健との連携を深める中で、健康情報の共有や保健事業の共同実施などに取り組み、生涯を通じた健康づくりの充実に図ります。

**【令和3年度実績】**

- ・市内保育所及び認定子ども園、商工会議所だより(2月)への掲載、甲府市健康チャレンジ表彰事業所等への生活習慣病等予防講習会の周知を行った。
- ・保育所を含む4事業所への生活習慣病等予防講習会を実施した。
- ・社会保険被扶養者への特定保健指導の実施機会を提供した。(実施回数：2回、会場：アネシス)
- ・協会けんぽとの打合せ、地域・職域連携推進関係者会議(厚生労働省主催)へ参加した。

## 2 いきがいときずな創り

### 13 いきがいインフォメーションの推進



#### 【概要】

市民が自分に合った「いきがい」を見つけ、充実した人生を送れるよう、市ホームページ上に特設サイトとして、「生きがいプラス」を開設し、市民にとってわかりやすく、選択ができ、活用できる各種セミナー等の情報提供を行います。

#### 【令和3年度実績】

- ・公民館や他部局が実施する「いきがい」に資する事業の情報提供をした。(年度計：697件)
- ・実施した事業の活動報告を掲載した。(年度計：33件)

### 14 地域で支え合う福祉サービスの創設



#### 【概要】

一人暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加する中、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に応じた地域包括ケア体制の構築に向け、住民をはじめとする多様な主体が参画した通いの場や生活支援などのサービスを充実させることで、高齢者の暮らしを地域で支え合うサービス提供体制づくりを進めます。

#### 【令和3年度実績】

- ・1地区（上九一色）において、協議体を設置した。既に協議体を設置している5地区（朝日、玉諸、伊勢、国母、相川）において運営支援を継続した。
- ・「笑顔ふれあい訪問サポート」の運用を開始し、生活支援サポーター養成の取組を実施した。
- ・「笑顔すこやか通所サークル」の設置に向け、元気運動教室の受託事業者や利用終了者に事業について説明を行った。

### 15 防災リーダー等の育成



#### 【概要】

防災活動の中心的な役割を担う自治会役員や地元住民に加え、新たに民間企業の従業員や外国人市民に対して積極的に働きかけを行い、防災リーダーとして育成・登録し、災害時に地域で活躍できる幅広い人材を確保します。また、自主防災組織と連携した防災活動を行うことで、自治会、企業、外国人市民が一体となり地域のきずなを強めるとともに、事業所等における防災士資格の取得の支援により、更なる地域防災力の向上を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・自治会連合会を通じた依頼とともに、広報紙等で募集を行い、新型コロナウイルス感染症対策として受講人数を制限した研修会を開催し、延べ51名の受講があり、72名の登録者を得た。
- ・防災士の資格取得支援に伴い、自治会からの推薦者5名への助成を行った。

## 元気スタイル3 「女性生きいきのまち」を創る

個性や能力を活かしながら、職場、地域、家庭など様々なステージで活躍する女性を応援し、それぞれが思い描くライフスタイルを実現できるまちを創ります。

### 1 活躍創り

#### 16 「日本女性会議2021 in甲府」の開催



##### 【概要】

2021年の日本女性会議の開催に向け、「甲府らしさ」を創出した日本女性会議となるよう市民と産学官が連携・協働して取り組むなかで、甲府で活躍する女性たちの取組を積極的に発信し、更なる男女共同参画意識の醸成を図ります。

##### 【令和3年度実績】

- ・4月に第5回実行委員会、9月に第6回実行委員会を実施し、感染拡大を踏まえてオンライン形式のみの開催に変更することを決定した。
- ・大会の全日程をオンライン形式にて開催し、全国から約1,800人の参加があった。
- ・大会終了後のアーカイブ配信（10月24日～11月5日）を含め、1万回を超える再生回数となった。
- ・大会の報告書を作成し、大会専用ホームページに掲載を行った。
- ・第7回実行委員会を书面決議で開催し、事業報告及び決算報告を行った。

#### 17 女性たちで創るマルシェの実施



##### 【概要】

「マルシェ」を通じて女性の活躍と交流の場を創出するとともに、夢を叶え起業した女性や、起業を目指して活動している女性たちの姿を「男女共同参画フォーラム」等において広く市民に知っていただき、多くの女性を応援する機運を高めます。

##### 【令和3年度実績】

- ・女性活躍応援サイト「なでしこPlus」でのオンラインマルシェ出店者の活動PRを掲載した。
- ・マルシェの開催について、日本女性会議専用ホームページ掲載及び市内小学校及び保育園等にチラシを配布し、PRを行った。
- ・10月24（日）から11月14日（日）まで、50店舗が参加し、専用の販売サイトにてオンラインマルシェを開催した。

18

### 「こうふまちづくりラウンジ」の実施



#### 【概要】

市内で活躍する様々な分野の女性たちが集い交流する機会「こうふまちづくりラウンジ」を提供し、女性の視点や感性でまちづくり等をテーマに意見交換を行うとともに、参加者相互の連携を促進し、ネットワークの形成を図っていきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・令和3年度委員を10名選定した。
- ・6月に令和3年度の委嘱状交付式及び第1回ラウンジを開催し、「日本女性会議2021 in甲府」大会においての公表について概要を説明するとともに、委員同士による意見交換も行った。
- ・7月に第2回ラウンジを開催し、公表についての具体的な内容について意見交換を行った。
- ・日本女性会議専用ホームページにおいて、大会当日（10月22日及び23日）及び大会プログラムのアーカイブ（録画）配信（10月24日～11月6日）の間、スライド形式にて、令和元年度及び2年度の報告の公表を行った。

## 2 ライフ・デザイン創り

19

### 女性活躍等に係る提案支援



#### 【概要】

女性活躍等の普及・啓発に取り組んでいる市民団体等から、ワークライフバランスや女性の就業・起業など女性の活躍に係る企画事業を募集し、効果や成果が期待できる事業の実施に要する経費の一部を助成することで、女性の多彩な活躍をアシストするとともに、「甲府市女性活躍支援サイトなでしこプラス」を活用し、その取組を発信していきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・6月1日～7月2日まで企画提案事業を募集し、2件の応募があった。
- ・7月21日に、応募のあった提案支援事業についての審査会を開催し、採択事業1件を決定した。
- ・採択事業に対して補助金を交付するなど、団体への支援を行い、女性の多彩な活躍をアシストした。

20

### 女性の就業・起業の応援



#### 【概要】

継続した起業研修会の実施や資金調達面での支援など、女性による起業を後押しするとともに、合同企業説明会において、再就職を希望する女性と企業にマッチングの場を提供し、女性の再就職を支援します。

#### 【令和3年度実績】

- ・甲府市版起業等スキーム及び起業等テキスト「Can-Pass（キャンパス）ノート」を作成した。
- ・「女性おうえん資金」について、市ホームページや広報こうふに掲載する等周知を行い、5件の申請があった。
- ・甲府市就職応援合同企業説明会への参加企業に、女性の活躍に向けた取組内容についてパンフレット等への掲載を呼び掛け、参加者に周知を行った。
- ・令和3年11月2日に「こうふイクボスセミナー」と題し、労働セミナーを開催。（参加者26名中、女性は5名）
- ・令和4年1月11日に「就職応援セミナー」と題し、労働セミナーを開催。（参加者9名中、女性は3名）

# 元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る

地域資源の魅力や地場産業の競争力を高めて、人や新たな産業を呼び込むとともに、リニア時代を見据えた都市基盤の整備や、安全安心な地域づくりを進め、賑わいと活力があふれるまちを創ります。

## 1 地域産業・未来産業創り

### 21 キャッシュレス化の推進



#### 【概要】

キャッシュレス決済事業者や民間事業者、関係機関等と連携してキャッシュレス化を推進し、本市におけるキャッシュレスの取組を誘引・活性化させることで、商業の活性化や市民の利便性の向上を図るとともに、インバウンドをはじめとする観光の振興を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・「がんばろう甲府！最大20%戻ってくるキャンペーン 第3弾」を8月1日から2ヶ月間実施し、キャッシュバックは約1億2千万円、直接消費額は約10億円となり、QRコード決済の普及と市内の消費喚起につながった。
- ・山梨県が実施した、消費喚起キャンペーンについて市ホームページに掲載し、周知を図った。

### 22 販路開拓の支援



#### 【概要】

地場産品に係る海外トップセールスやプロモーション活動を実施するとともに、事業者が国内外の展示会等へ出展する際の支援、海外販路開拓等を行う際の基本事項等を学ぶセミナーの斡旋、甲府市産業支援サイトを活用した情報発信を行うなど販路開拓を支援し、地場産業の振興を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・タイ王国との「MOU（覚書）」の締結を7月12日にオンラインで行った。
- ・「甲府市地場産業販路開拓支援事業補助金交付要綱」の活用について、関係機関に周知を行い1件の交付決定を行った。
- ・「甲府のワインブランド化」事業について、事業者が「甲府ロゼスパークリング」を12月に製造し、本市において甲府之証の認定やふるさと納税返礼品として登録を行い、周知を図った。
- ・事業者の海外販路開拓を支援するため、ジェトロ山梨と連携してセミナーを開催した。
- ・ジャパンジュエリーフェアにおいて、本市の魅力の発信するとともに、本市事業者とタイ国事業者間でのオンライン商談会を実施した。
- ・本市の宝飾産業の認知度の向上を図るため「宝石のまち甲府ジュエリーマップ」を作成し、甲府市観光案内所などに設置した。

23

## 観光客の誘客促進



## 【概要】

こうふ開府500年、信玄公生誕500年、東京オリンピック・パラリンピックなどを好機ととらえ、第3次観光基本計画を推進する中で、本市の観光資源である歴史、ワイン、ジュエリー、伝統、そして昇仙峡や甲府名山などを最大限活用して外国人を含む観光客を誘引する施策を実施し、交流人口の増加による観光振興と地域の活性化、本市の認知度の向上を図ります。

## 【令和3年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多大な影響を受けた事業者への支援として、令和2年度に引き続き「甲府へ泊まろうキャンペーン」を実施した。
- ・10月16日（土）～12月15日（水）までの間、甲府駅～信玄の湯 湯村温泉～昇仙峡まで屋根のないオープントップバス等の実証運行と、それに連動した気球体験や印伝体験などのオプションツアーを造成した。
- ・ツアー等のプロモーションのため、パンフレットを作成し、市内各施設やJR東日本東京圏の各駅への設置や、インフルエンサーを起用した本市周遊PR動画を作成し、インターネットなどでの配信などを行った。
- ・るるぶ特別編集甲府の内容を一部見直し、食に関する情報を充実させた「るるぶ特別編集るるぶ甲府ぐるめ+（プラス）」を作成した。

24

## 新産業・未来産業の立地促進



## 【概要】

新たな成長産業や未来産業を見据え、企業の動向及び進出ニーズ等のリサーチを行う中で企業を訪問し、情報交換を行いながら、特定機能補強地区を中心に民間開発を視野に入れた産業立地を促進します。併せて、受け皿となる事業用地確保のための仕組み等を構築し、企業立地を支援します。

## 【令和3年度実績】

- ・コロナ禍においては県外企業への訪問が難しい状況であるため、県内企業を中心に訪問したところ、規模拡大や新規事業を検討する好況企業から、立地相談を受けた。
- ・公募により、サテライトオフィス等活用促進事業に参画する既存サテライトオフィス等施設運営者を決定し、施設情報を掲載した。
- ・特定機能補強地区における事業用地確保のため、地権者会の役員と意見交換を行った。
- ・サテライトオフィス等活用促進事業は、コロナ蔓延でイベントの開催時期の延期や実施方法を工夫し、セミナーを4回、ビジネスマッチングを2回開催した。

25

## 農業振興の推進



## 【概要】

「甲府市農業振興計画」に掲げる産地の保全と強化に向けて、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や効率化を図るスマート農業の普及を促進するとともに、新規就農者等の確保・育成に取り組みます。

## 【令和3年度実績】

- ・気象観測データの蓄積を行った。
- ・ブドウのジベレリン処理適期の把握に向けた気象観測センサを設置した。（6地区）
- ・パワーアシストスーツ及び電動剪定ハサミの貸出を行い、普及を図った。（パワーアシストスーツ：3件21日、電動剪定ハサミ13件89日）
- ・農業体験支援事業及び新規就農者応援隊支援事業を実施した。（各1地区 体験受入れ延べ300人、研修生3人）
- ・国、県事業を活用した新規就農者確保・育成施策を実施した。（農業次世代人材投資事業：10件13,500千円）

## 2 未来へと続く住みよい暮らし創り

### 26 リニア新時代を見据えた都市環境の創出



#### 【概要】

人口減少・少子高齢社会等の社会的課題を踏まえ、リニア開業効果を最大限享受し、豊かな自然を活かした潤いのある生活環境と活力ある都市環境の共生につなげるため、「甲府市リニア活用基本構想」に基づくまちづくりプロジェクトを推進します。

#### 【令和3年度実績】

##### ①甲府市リニア活用基本構想の推進

- ・15のまちづくりプロジェクトに係る41の取組について、前年度進捗実績調査を実施し、取組状況を取りまとめたほか、今後の構想の在り方や進捗管理の参考とするためアンケート調査も併せて実施した。
- ・リニアサミットを10月19日に開催し、有意義な意見交換を行った。また、収録内容を12月19日にテレビ放送し、1月14日にはインターネットにて公開した。

##### ②リニアKSプロジェクトの推進

- ・リニア近接地域における一部エリアの市街化区域編入について、県の都市計画に位置づけられるよう協議を行った。
- ・リニア近接地域の市街化区域編入や企業誘致について、県と協議を行った。
- ・組合施行による土地区画整理事業の促進のため、地域住民と意見交換を行った。

### 27 都市計画道路の整備



#### 【概要】

未整備の都市計画道路を効率的、効果的に整備するため、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、順次事業化を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・住吉四丁目善光寺線（善光寺工区）及び高畑町昇仙峡線（池田工区）については、3月に事業認可を取得した。
- ・城東三丁目敷島線については、山梨県及び関係企業等との協議を経て詳細設計業務を完了した。

### 28 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成



#### 【概要】

将来にわたって市民の移動手段を確保し、安全で快適な生活環境を形成するため、「甲府市地域公共交通網形成計画」に基づく施策を中心に、課題解決に向けた取組みを進め、持続可能な公共交通ネットワークを形成します。

#### 【令和3年度実績】

- ・乗継バスマップを公表した。
- ・ユニバーサルデザインタクシー補助申請を3件（4台）受け付けた。
- ・代替バス運行及び宮本・能泉地区並びに上九一色・中道地区コミュニティバス運行した。
- ・バス縁地は2施設、エコ通勤デー参加協力事業所は1施設拡充した。
- ・公共交通利用促進を図る出前講座を3回開催した。

29

## 防災拠点の整備



### 【概要】

災害応急活動に応じた機能を複合的に有する防災活動の拠点（下飯田防災用地）を整備し、大規模災害時における対策の充実を図るとともに、地域防災力の中核を担う消防団の本部拠点（甲運分団本部拠点施設）を整備し、地域コミュニティにおける防災力の強化を図ります。

### 【令和3年度実績】

・当初の目標であった下飯田防災用地及び甲運分団本部拠点施設については既に供用開始済のため、次年度以降の拠点整備について検討を行い、北新分団本部拠点施設の整備を進めていくことを決定した。

30

## 地域防災力の強化推進



### 【概要】

地域住民が協力し合い、助け合う「自助」と「共助」の更なる充実・強化を図るため、地区防災計画のアフターフォロー、将来地域の担い手となる子どもたちへの防災教育、外国人市民に対する防災研修会などを実施するほか、水害対策として地域の水害避難マップやマイ・タイムラインを活用した地区研修会などの取組を実施します。また、「液体ミルク」や災害時貸出用等の「スコップ」の新たな備蓄にも取り組むなど、引き続き地域防災力の強化推進を図ります。

### 【令和3年度実績】

- ・小学校、中学校で防災教室を行い、年間31校で実施した。残り5校については、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、そのフォローとして防災に関する動画を作成し、各学校へ配布した。
- ・外国人市民に対して2回の防災研修会等を実施し、計43名が参加した。
- ・水害避難の地区研修会を1地区で実施した。予定していた残り6地区については、新型コロナウイルス感染拡大により延期となったため、昨年度に続いて延期となった山城地区では、研修内容に関する資料、水害避難マップ、マイ・タイムラインの全戸配布を行った。
- ・地区防災計画のアフターフォローとして、電話連絡による活用状況の調査62件、個別訪問9件を行った。
- ・200本の非常用貸出用スコップを購入し、市の防災倉庫へ備蓄を行った。
- ・中央部防災倉庫内に備蓄をしている乳児用液体ミルクについて更新を行った。

31

## 地球温暖化対策の普及促進



### 【概要】

環境問題の課題解決のため、全ての世代が環境に関する正しい知識を持ち、興味や関心を高め自ら行動に移せるよう、年齢に応じた環境教育を進め環境保全意識の醸成に取り組むとともに、クリーンエネルギーの更なる普及促進や、ごみの減量に向けた取組も進めます。

### 【令和3年度実績】

#### ①環境教育

幼稚園・保育所：13園、小学校（放課後児童クラブ・放課後子供教室含む）：38校、中学校：1校、その他：6団体（家庭教育学級・出前講座・自治会等）

#### ②クリーンエネルギー普及促進

助成：蓄電池単体設置：56件、太陽光と蓄電池の同時設置：71件、ペレットストーブ：2件

#### ③廃棄物の減量化・再資源化の推進

ごみへらし隊による出前講座：18回、焼却工場見学：10回、エコ工作：23回、事業者に対する適正・分別排出指導：806回

# 元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る

開府500年を契機に甲府市の宝である歴史や伝統・文化等を未来にしっかりと継承するとともに、未来を託す人材（人財）の育成や地域資源の掘り起こしなど新たな宝を創造し、故郷こうふを大切に思うまちを創ります。

## 1 こうふ愛創り

### 32 故郷こうふの学びの推進



#### 【概要】

甲府の重層的で多様な歴史・伝統・文化等を再認識する「私の地域・歴史探訪」や、次の時代を担う子どもたちが甲府について自ら学び、自らの言葉で発表する「ラーニング・スピーチ」を展開し、「故郷こうふ」への誇りと愛着を育み、未来に向けたひとづくり・まちづくりに繋げていきます。また、小学校における社会科教材「私たちの甲府市」を改訂し、子どもたちの郷土愛の育みを支援していきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・「私の地域・歴史探訪」（散策会）を8地区で開催した。
- ・「甲府ラーニング・スピーチ」を実施した。（リレーフォーラム2020、リレーフォーラム2021、こうふ開府の日イベント内）
- ・社会科資料集「わたしたちの甲府市」を令和4年3月11日に市立小学校25校へ配布した。

### 33 「甲府市の歌」の普及



#### 【概要】

学校、地域、様々なイベントや各種団体の活動の場など、本市を象徴する歌である「甲府市の歌」を歌う機会を増やし、「甲府市の歌」の普及を図る中で、市民の一体感や郷土愛を更に育てていきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・「甲府市の歌」のPRとして音源のURLを市の封筒へ掲載し、音源を聴く機会を増やした。
- ・「広報こうふ1月号」において、「甲府市の歌」を巻頭特集2ページで取り上げ、郷土愛を育むような誌面とし、普及を図った。
- ・「甲府市の歌」認知度アンケートを実施した。

### 34 新たなプロモーション発信ツールの創造



#### 【概要】

市政情報、市民の活動や活躍、産物の紹介、観光スポットなど従来の様々なコンテンツに加え、SNS活用世代をターゲットに、若者に向けた動画やメッセージ性の強いPR動画など、よりリアルタイムに、よりキャッチーな情報を発信するとともに、直接、県外各地の自治体等を訪問し、人と人のふれあいの中「フェイスtoフェイス」で甲府ブランド（産物、施策など）を積極的にプロモーションするなど、新たなツールの創造によりプロモーション効果を高めます。

#### 【令和3年度実績】

- ・市ホームページ上の動画チャンネル改編を行った。
- ・LINEによる情報発信を開始した。
- ・LINEでの情報発信では機能拡張した「セグメント配信」を利用し、必要な情報のみを受け取れる、より効果的な情報発信を行った。

## 2 新たな宝創り

### 35 歴史を感じられる甲府城エリアの整備



#### 【概要】

「お城がつなぐまち甲府城周辺地域」をコンセプトとした「甲府城周辺地域活性化基本計画」に基づき、賑わいの創出及び中心市街地の活性化を図る中で、風格のある、歩いて楽しい歴史を感じられる空間づくりを行います。

#### 【令和3年度実績】

- 甲府城周辺地域活性化計画整備事業
  - ・飲食物販ゾーンにおける民間活力導入に向け用地取得及び公募型プロポーザルの準備を行った。
  - ・2022年度に実施する山梨県社会福祉会館解体工事に向け、地質調査を実施した。
- 甲府城北側・東側の景観形成
  - ・山梨県景観づくり推進室主催の勉強会等を活用し、先進都市事例等の研究を行った。

### 36 史跡等を巡る「散策ルート」の創出



#### 【概要】

国史跡の武田氏館跡・要害山・甲府城跡を巡る新たな散策ルートを創出し、甲府の歴史・文化・伝統の魅力を市民や来訪者に発信することで甲府の歴史的ブランド力を高めるため、各史跡とその周辺にある文化財を紹介するマップや、説明板等のサインを作成し、信玄ミュージアムなどを拠点に周遊を促進する仕組みを作ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・史跡要害山の散策会を5月と7月の2回実施した。
- ・5月に「信玄公生誕の地散策会」を実施した。
- ・ぶらり歴史探訪として「史跡武田氏館跡から大泉寺」を11月に実施し、「史跡武田氏館跡から家臣屋敷地」、「史跡武田氏館跡現地見学会」を3月に実施した。

### 37 「ドリームキャンパス」の推進



#### 【概要】

未来を託し次代を担う人材の育成に向けて、甲府大使や甲府にゆかりのある著名人、地域で活躍する匠などを「夢の先生」に迎えて授業を行い、多くの子どもたちに夢を持つことの素晴らしさ、大切さを伝える「ドリームキャンパス」を開催します。

#### 【令和3年度実績】

- ・通常のかうふドリームキャンパスは甲府にゆかりのある方をはじめ、各界の著名人を講師に迎え、市内小中学校を中心に28回開催した。
- ・ドリームキャンパススペシャルとして授業を3回開催した。

### 38 甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部こうふ」の創出



#### 【概要】

歴史ボランティアガイドが「語り部」となり、信玄ミュージアム等を拠点として本市の歴史・文化・伝統を市民や県外からの来訪者に伝え、歴史的魅力を次世代に継承していくとともに、来訪者等を介して本市の歴史や魅力を全国に発信します。

#### 【令和3年度実績】

- ・Withコロナ、Afterコロナを見据えて、活動再開に向けてボランティアガイドの登録者に対して、活動再開の周知を図った。
- ・新規ボランティアの募集記事を広報2月号に掲載した。

# 元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る

国際教育の充実により国際感覚のあるグローバルな人材を育成するとともに、外国人留学生やインバウンドによる地域活力の増進を図り、世界から人が集まるまちを創ります。

## 1 グローバルな人材創り

### 39 地域国際交流の推進



#### 【概要】

国際交流アンバサダーや多様な主体と連携した国際交流機会の創出等により、出前講座や外国人留学生との交流イベントなど幅広い世代で国際交流活動を活発に行うことで、市民の国際理解と国際感覚の醸成を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・コロナ禍において交流事業が実施できない中、SNS（FacebookやInstagram）等を活用し本市の観光スポット等の魅力を多言語により世界各地へ情報発信を行った。
- ・新聞等を活用し、国際交流員による本市のPRを行った。
- ・商工課と連携したジャパンジュエリーフェアの取材・発信による「宝石の街甲府」のPRや、宝石の街甲府会議における意見交換など、本市産業の世界への情報発信に資する取組を行なった。
- ・英和大学での講演を行なったほか、小学校・民間企業・地域住民グループ等を対象とした様々な形態による交流事業（出前講座）を実施した。

### 40 国際教育の推進



#### 【概要】

保育所や放課後児童クラブ等へ留学生等を派遣して読み聞かせを行うなど、外国語や異文化に触れ合う機会を創出し、幼少期から外国語への興味を抱かせるとともに、外国人留学生による英会話教室など各年代に合わせた国際交流活動を通じて国際性豊かなグローバル人材の育成に取り組みます。また、小学校における外国人英語指導講師（ALT）を増員し、学校での国際教育を推進していきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・国際交流員の交流活動については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催を検討していく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、歴史探訪交流会については留学生のみの少人数で実施した。

## 2 海外活力による賑わい創り

### 41 東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進



#### 【概要】

東京2020オリンピックにおけるフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の受入れを行い、選手が本大会に集中して臨めるよう環境を整える中で、スポーツの振興とともに日本文化の発信とインバウンド観光の促進に繋げていきます。

#### 【令和3年度実績】

- ・フランス卓球・レスリング連盟とコミュニケーションをとり、本市での事前合宿の実施と運営を行った。
- ・ZOOMによるフランス選手団とのホストタウン交流を、市内小学校と市内の高校2校で行うとともに、山梨県レスリング連盟所属の子どもたちとの交流も行った。
- ・市内小中学生に対してオリンピック・パラリンピアンによるドリームキャンパスを実施するとともに、中学校給食においてフランス料理による給食を提供し、オリンピックの機運醸成を図った。
- ・フランス卓球・レスリングの選手より、事前合宿中に小学校児童が送付したビデオレターへの回答ムービーの上映会を開催した。

### 42 外国人留学生の応援



#### 【概要】

外国人留学生を様々な場面で応援することにより、海外から多くの留学生を呼び込み、定住促進や地域経済の活性化を図るとともに、外国人留学生のネットワークを活かした国内外への情報発信力の向上によって交流人口の増加を目指します。

#### 【令和3年度実績】

- ・外国人留学生に対する奨学支援を行うとともに、コロナ禍での外国人留学生の受入支援を行った。
- ・山梨学院大学主催の「世界初！有人宇宙飛行成功60周年記念イベント」や「インドネシアフェスティバル」、「インターナショナルミュージックフェア」の開催を支援し、学生・市民が参加し国際理解を深めた。

### 43 外国人を対象とした就業機会の創出



#### 【概要】

産業人材として活躍する機会を創出するため、市内での就職を希望する留学生をはじめとする外国人が、市内企業に就職できるよう、合同企業説明会を実施し、外国人の就業と企業の雇用確保を支援します。

#### 【令和3年度実績】

- ・ハローワーク甲府管内（5市1町）での外国人を対象とした就職ガイダンスの開催に向けて、各市町のホームページ等を活用し広報活動を行った。
- ・令和3年10月28日にハローワーク甲府管内（5市1町）で外国人を対象とした就職ガイダンスを開催した。

# 元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る

中核市甲府の役割を果たせる人材の育成と持続可能な行財政運営を進めるとともに、市民に寄り添い、市民と協働のまちづくりを推進し、市民に信頼される市役所を創ります。

## 1 成長する人材と組織創り

### 44 民間企業などの職務経験者等の活用



#### 【概要】

民間企業や公的機関で培われた知識や経験を市政に活かせる人材を採用し、「経営感覚」や「顧客重視」の発想などを職員に浸透させ、職員の意識改革と組織の活性化により更なる市民サービスの向上を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・民間企業等職務経験者にかかる募集要項を作成し、周知・募集（8/24～9/25）を行い、第1次試験（10/18）、第2次試験（11/14）を実施した。
- ・先進自治体の事例研究を行った。
- ・職務経験者等採用職員のフォローアップと効果の検証を行った。

### 45 先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成



#### 【概要】

先進事例の研修や視察をなお一層充実させ、新しいノウハウの修得や職員意識のイノベーションを図ることにより、前例に捉われない柔軟な発想や意欲を持ってチャレンジできる自律型人材（人財）の育成に取り組みます。

#### 【令和3年度実績】

- ・「人材マネジメント部会」へ職員3名を派遣し、5回のオンライン研究会へ参加し、職員へ研究成果の報告会を実施した。
- ・（一社）自治体国際化協会のプログラムを活用した自治体の事例研究を実施した。

### 46 キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度



#### 【概要】

職員が、自らの志向や適性を活かし、やりがいを感じながら職務に精励できる環境を整えるとともに、昇任試験制度の見直しや人事評価結果を活用し、キャリア・スキル（実績・実力）を重視した昇任や適材適所への配置を行うことで、市民ニーズへの的確な対応とサービスの向上を図ります。

#### 【令和3年度実績】

- ・キャリアアップ制度の運用（試行）を行った。
- ・新人事評価制度の課題整理及び国家公務員の人事評価制度の改善に向けた検討内容を把握した。
- ・課長昇任試験、主幹制度の見直し案を作成した。

47

## 執行体制の最適化の推進



### 【概要】

内部組織を統制する仕組みの充実を図るとともに、現場主導の業務改善を推進し、各職場及び職員が事前に対策を講じる積極的な行動を促すための仕組みを導入するなど、事務の適正な執行体制を確保し、市民の期待と信頼に応える、質の高い行政サービスを継続的に提供します。

### 【令和3年度実績】

- ・業務改善ガイドラインを職員に対して周知したほか、活用促進のため、アンケートを行った。
- ・全庁でのリスクの識別・評価の試行実施及び結果の検証を行った。
- ・職員提案制度を実施した。
- ・職員の流動措置についての相談や支援を行った。
- ・業務サポート任期付職員制度による職員の配置や効果の検証を行った。

## 2 協働して未来に進む市政創り

48

## 市民活動の支援と応援



### 【概要】

市民、自治会、ボランティア団体・NPOなどの多様な主体による様々な活動が円滑かつ効果的に行えるよう、地域の担い手の確保に向け、ボランティアのマッチングの仕組みづくり、ボランティア情報の一元化、市ホームページ等からの情報発信などを行い、ボランティア登録者の増加を図るとともに、協働のまちづくりに寄与する活動に対して表彰制度を創設し、様々な市民活動の奨励やボランティア活動の活性化を図る中で、協働によるまちづくりを推進します。

### 【令和3年度実績】

- ・貸出施設の貸出時間の拡充、協働支援センターネットワーク会議の設置・開催、チラシ作成講座の実施、スマートフォン体験講座・ワード・エクセル入門講座の開催等の取組を行った。
- ・「地域が主体となって行う地域課題の解決に向けた取組」を支援する地区として伊勢地区に加え、新たに「相川地区」「穴切地区」を追加し、取組を開始した。
- ・職員がボランティアコーディネーター3級検定に合格した。

49

## データの活用方法の確立



### 【概要】

ICT技術の進展によるデータ活用が容易になったことから、過去のデータから個人の健康問題を予測した予防型のサービスを展開するなど、積極的なデータ活用とデータに基づく施策形成に取り組めます。

### 【令和3年度実績】

- ・新たにオープンデータを追加した。(公共施設一覧、医療機関一覧)
- ・オンラインによる職員研修を実施した。(GIS研修、データ活用研修)



## 【概要】

人口減少・少子高齢化が進行する中、市民サービスの持続性を確保するとともに、更なる行政サービスの向上を図るため、選択と集中によるスクラップアンドビルドにより一層の行財政改革を進め、効率的で健全な自治体運営を確立します。

## 【令和3年度実績】

## ○歳出抑制

- ・「環境行政に係る財務事務の執行について」を包括外部監査の監査テーマとし、外部監査人によるヒアリングを実施した。
- ・行政評価の結果を予算編成へ反映した。

## ○歳入確保

- ・新たな広告媒体を導入した。
- ・低未利用資産の調査及びヒアリングを実施した。
- ・クラウドファンディングを実施した。
- ・ネーミングライツを実施した。



## 【概要】

市民サービスの在り方や行政業務について、デジタル技術を前提とした仕組みへとリデザインし、効率的な行政運営体制への転換と、Society5.0時代にふさわしい高度で迅速な市民サービスの展開に繋がります。

## 【令和3年度実績】

- ・テレワークの試行を実施し、課題点等の整理に着手した。
- ・テレワーク実施に必要な機器の導入と試行規程等の整備に向けた準備を行った。
- ・デジタル行政手続きガイドを10月に運用開始し、公式LINEや声の広報、テレビ・ラジオ・広報等による市民等への周知活動を行った。
- ・利用希望者からの申請を受け、利用登録を行い、遠隔手話サービスの提供を行ったほか、広報等による周知も積極的に行った。